

# 設楽ダム建設事業 (事業費等の監理状況)

令和6年9月11日  
国土交通省 中部地方整備局  
設楽ダム工事事務所

# 目次

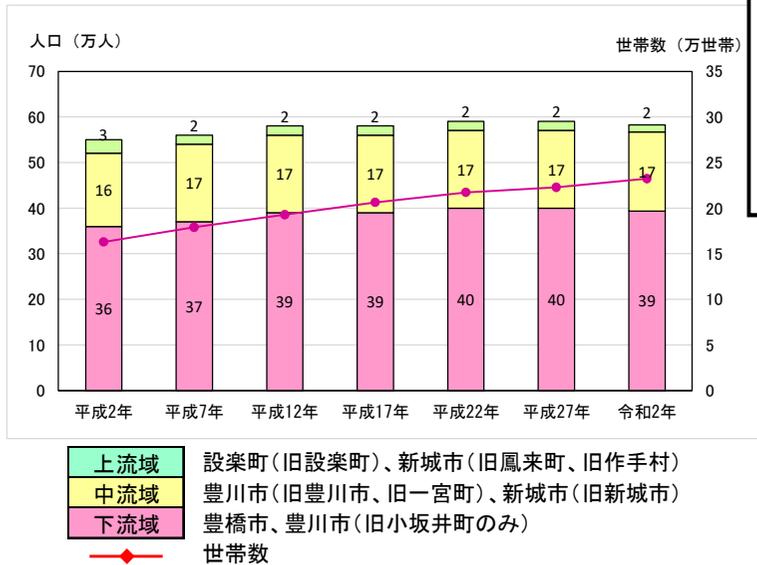
1. 事業の概要	1	3. 令和6年度予算	21
1) 流域の概要・現状	1	1) 実施内容	21
2) 事業の目的及び計画内容	3	2) 事業実施箇所	22
3) 事業の経緯	6	3) 個別説明	23
4) 事業の全体工程	7	(1) ダム本体関連	23
5) 第2回計画変更(R4.8)後の事業費増減	9	(2) 付替道路工事(設楽根羽線)	24
6) 変状等確認している事象	10	(3) 付替道路工事(瀬戸設楽線)	26
7) 事業の進捗状況	11	(4) 付替道路工事(国道257号)	28
2. 令和5年度予算	12	(5) 付替道路工事(小松田口線)	29
1) 実施内容	12	4. 本事業におけるコスト縮減	30
2) 事業実施箇所	13	1) 第2回計画変更後に見込まれるコスト縮減案	31
3) 個別説明	14	5. 設楽ダムにおける取り組み	32
(1) ダム本体関連	14		
(2) ダム本体付属関係	15		
(3) 付替道路工事関係	17		

# 1. 事業の概要

## 1) 流域の概要・現状

○豊川は、源を愛知県北設楽郡設楽町の段戸山<sup>だんどさん</sup>に発し三河湾に注ぐ、幹川流路延長約77km、流域面積724km<sup>2</sup>の一級河川で、流域には58万人(3市1町)の人々が生活しており、この地域の産業・経済・社会・文化の発展の基盤を築いている。

【流域市町の人口の推移】  
(豊橋市、豊川市、新城市、設楽町)



豊川の流域概要

流域面積	724km <sup>2</sup>
幹川流路延長	約77km
流域市町村	3市1町
流域人口※1	約58万人

※1: 出典: 令和2年国勢調査人口等基本集計  
 設楽町(旧設楽町)、新城市(旧新城市、旧鳳来町、旧作手村)  
 豊川市(旧豊川市、旧一宮町、旧小坂井町)、豊橋市



豊川の流域図

# 1. 事業の概要

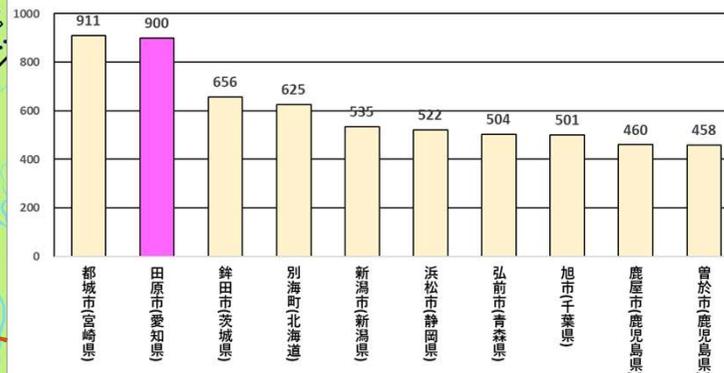
## 1) 流域の概要・現状

- 豊川の水と温暖な気候の恵みを受け、露地野菜や果物、園芸作物などの農業が盛んである。
- 三河港周辺の臨海工業地帯では自動車産業を中心とした工業生産活動が行われている。

豊川流域・利水地域の市町村別農業産出額

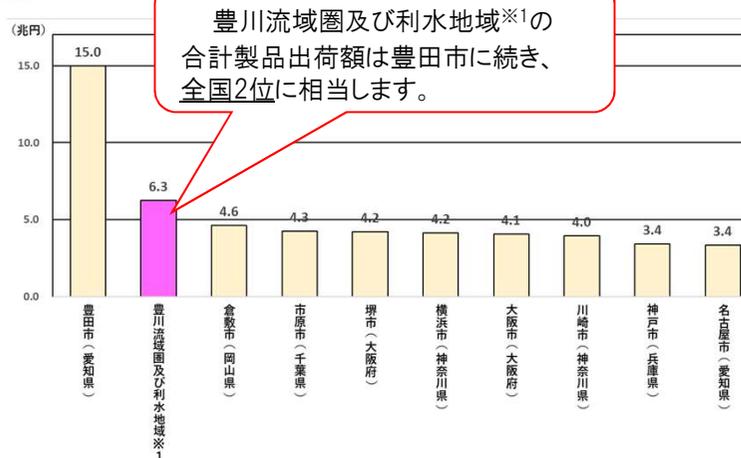


農業産出額の全国上位10市町村



出典:「令和4年度市町村別農業産出額」(農林水産省)

製造品出荷額※2の全国上位10市町村



豊川流域圏及び利水地域※1の合計製品出荷額は豊田市に続き、**全国2位**に相当します。



※1 豊川流域圏及び利水地域:豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村、湖西市

※2 製造品出荷額:2021年1年間における製造品出荷額、加工賃収入額、その他収入額及び製造工程から出たくず及び廃物の合計

出典:『2022年「経済構造実態調査(製造業事業所調査)」』

東三河の産業を支える工業用水



## 2) 事業の目的及び計画内容

### プロジェクトSHITARA ～東三河の夢と未来を乗せ、高さ129mのダム建設に挑む～

#### (1) 事業の目的

- 洪水時の水量を調節して、河道の整備と併せて豊川流域の洪水被害を軽減する。
- 渇水時にも、豊川に一定量の水の供給を可能にする。
- 東三河地域に新たな水道水と農業用水の供給を可能にする。

#### (2) 計画内容

##### ○実施箇所(豊川水系豊川)

右岸: 愛知県北設楽郡設楽町松戸 左岸: 愛知県北設楽郡設楽町清崎

##### ○計画内容

###### <洪水調節>

設楽ダムの建設される地点における計画高水流量毎秒1,490m<sup>3</sup>のうち、毎秒1,250m<sup>3</sup>の洪水調節を行う。

###### <流水の正常な機能の維持>

下流の既得用水の補給等流水の正常な機能の維持と増進を図る。

###### <かんがい>

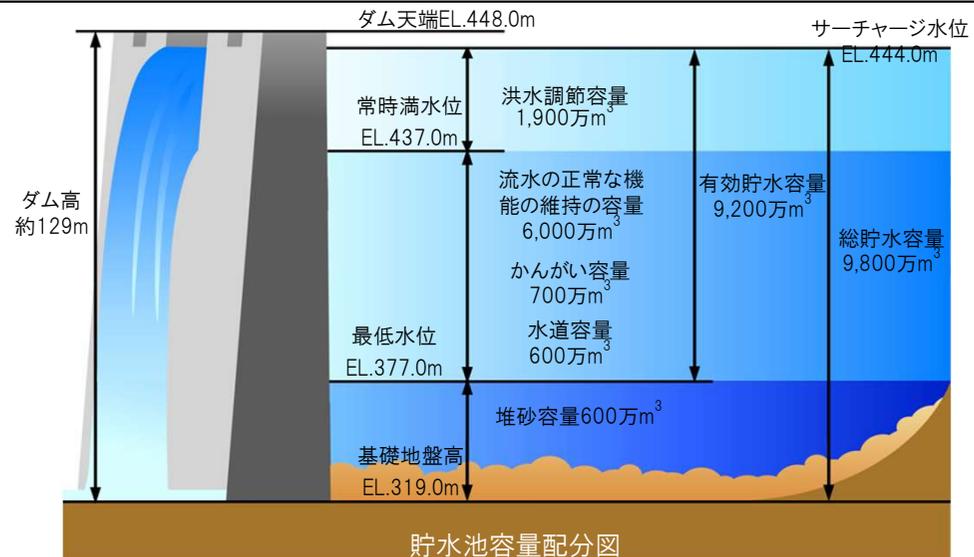
愛知県東三河地域の農地約17,200haに対するかんがい用水として、新たに毎秒0.339m<sup>3</sup>(年平均)の取水を可能にする。

###### <水道>

愛知県東三河地域の水道用水として、新たに毎秒0.179m<sup>3</sup>の取水を可能にする。

設楽ダムの諸元

形式	重力式コンクリートダム
堤高	約129m
流域面積	約62km <sup>2</sup>
湛水面積	約3km <sup>2</sup>
総貯水容量	9,800万m <sup>3</sup>
洪水調節容量	1,900万m <sup>3</sup>

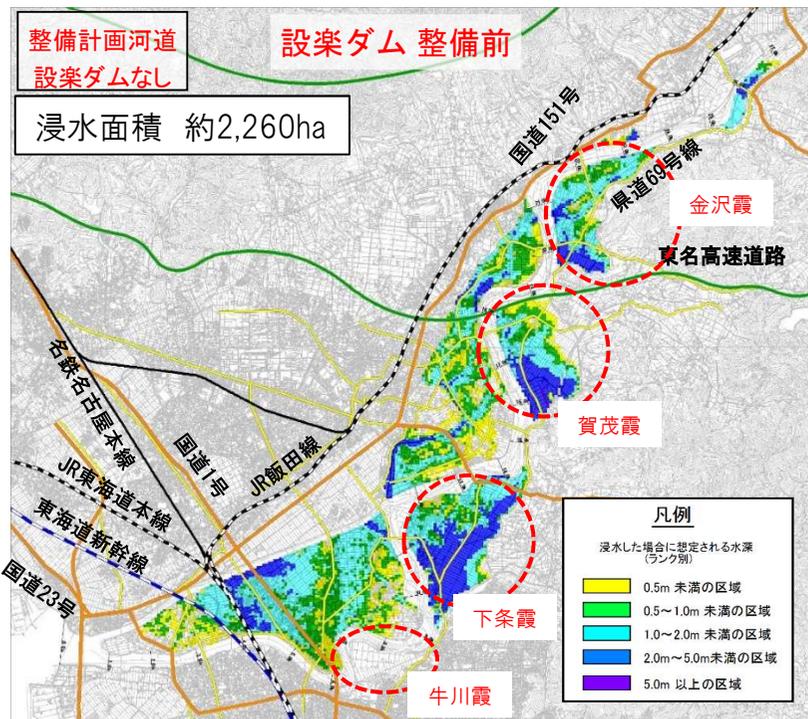


## 2) 事業の目的及び計画内容

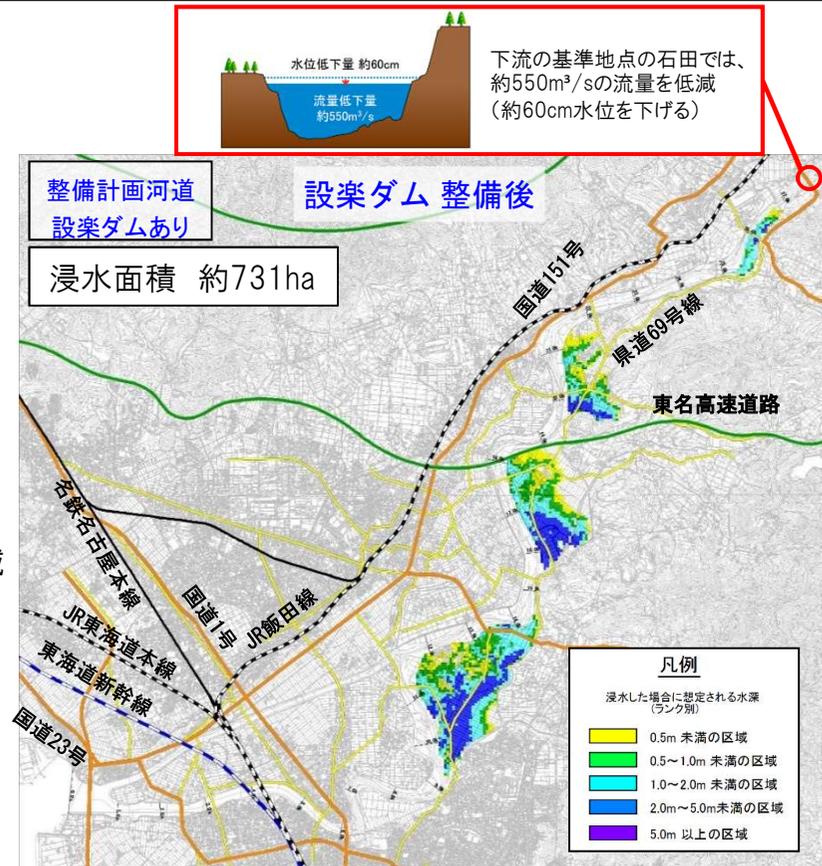
### (3) 事業の効果

- 基準地点石田において、河川の水位を、戦後最大の洪水(30年に1回の確率)では約60cm、150年に1回の確率の洪水では約1.0m下げることにより、決壊などの大きな被害を防止し、霞堤地区の被害を軽減させる。
- 10年に1回発生する規模の渇水において、設楽ダムにより河川流量を増加させ、河川環境を保全するとともに、既得用水の取水の安定化を図る。
- 愛知県東三河地域の農業用水及び水道用水合わせて約0.5m<sup>3</sup>/sの新たな取水を可能にする。

### ● 戦後最大の洪水が再来した場合



約1,529ha減



※整備計画河道の条件

牛川霞: 下流からの河川改修の進展により、他の地区への水位上昇などの影響がなくなったことから、堤防整備(築堤)により無堤部を解消。  
下条、賀茂、金沢霞: 締め切った場合に下条霞より上流において洪水時の水位が上昇し、破堤等の危険性が増大するため、小堤の設置により浸水する頻度を低減。

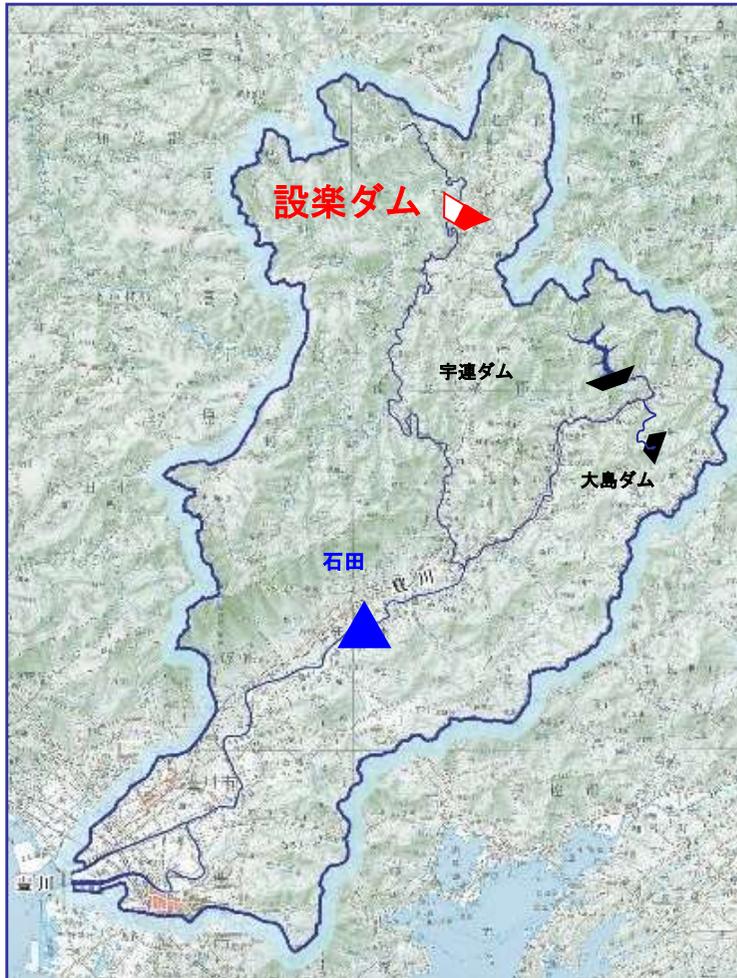
出典: 令和4年度 設楽ダム建設事業の再評価 抜粋(一部加筆)

## 2) 事業の目的及び計画内容

### (3) 事業の効果 ～令和5年6月の台風第2号及びそれに伴う前線の活発化による大雨～

- 現在、河川整備計画に基づき設楽ダム建設事業を進めています。
- 設楽ダムが完成していれば、新城市石田地点では約40cmの水位低下効果があったと推定されます。

位置図



設楽ダムの完成イメージ



石田地点の水位

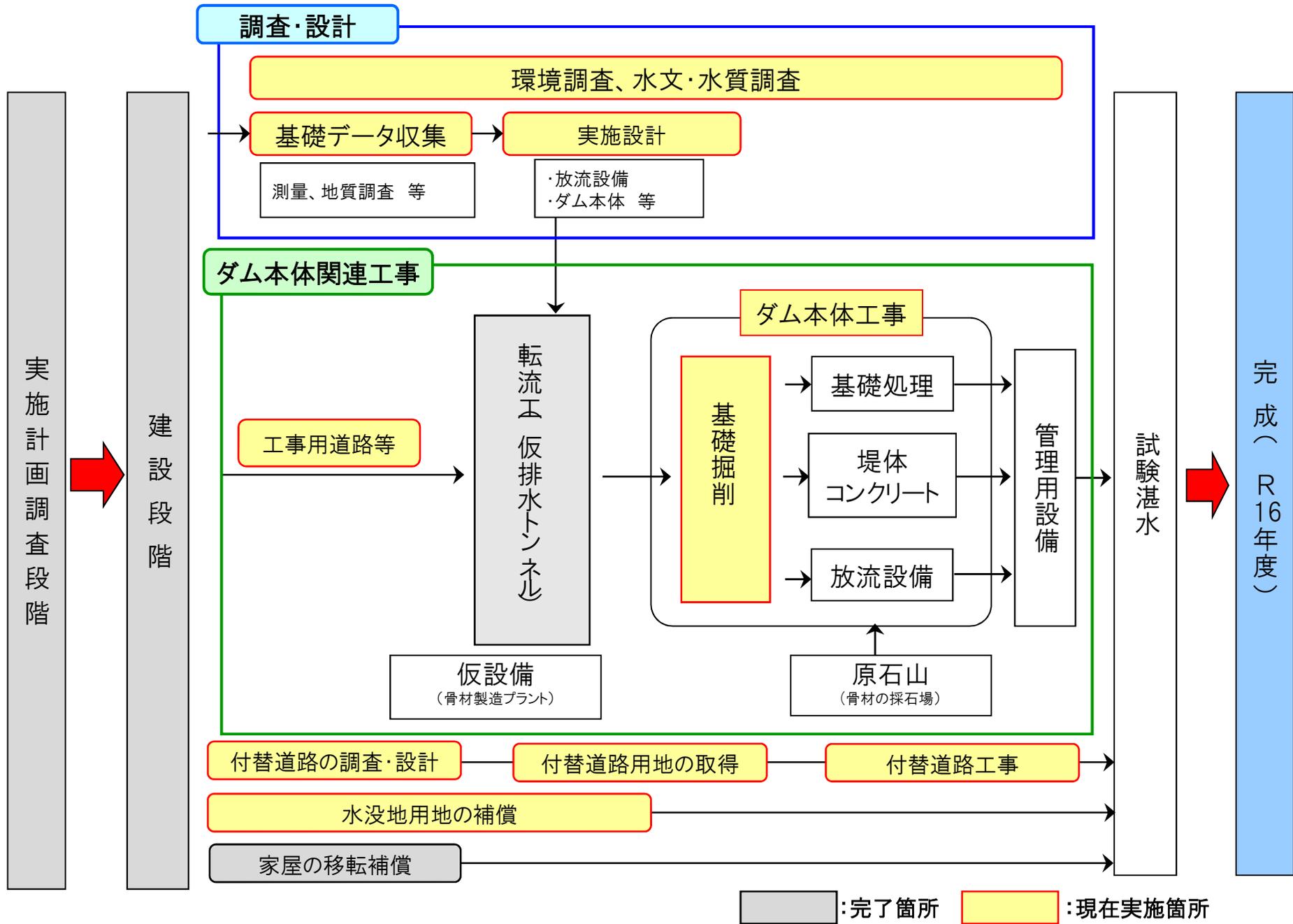
R05年06月02日出水



### 3) 事業の経緯

昭和53年	4月	実施計画調査に着手
平成 2年	5月	「豊川水系における水資源開発基本計画」閣議決定
平成11年	12月	「豊川水系河川整備基本方針」策定
平成13年	11月	「豊川水系河川整備計画」策定
平成15年	4月	建設事業に着手
平成18年	2月	「豊川水系における水資源開発基本計画」全部変更閣議決定
	4月	「豊川水系河川整備計画」一部変更
平成19年	6月	「豊川水系設楽ダム建設事業環境影響評価書」を公告縦覧
平成20年	10月	基本計画告示(工期:平成32年度 事業費:2,070億円)
平成21年	2月	損失補償基準妥結、ダム建設同意調印
	3月	水源地域整備計画決定
	6月	用地補償契約着手
	8月	工事用道路工事着手
	12月	検証の対象とするダム事業に選定
平成22年	9月	検証に係る検討の指示
	11月	「第1回設楽ダム建設事業の関係地方公共団体からなる検討の場」を開催 第2回:平成23年2月 第3回:平成23年5月 第4回:平成23年12月 第5回:平成25年2月
平成26年	4月	国土交通大臣による対応方針「継続」の決定(H26.4.25)
平成28年	9月	基本計画(第1回変更)告示(工期:令和8年度 事業費:2,400億円)
平成29年	3月	転流工工事着手
令和 2年	3月	左岸頂部掘削工事着手
令和 4年	8月	基本計画(第2回変更)告示(工期:令和16年度 事業費:3,200億円)
令和 5年	2月	転流開始
令和 5年	10月	付替県道 設楽根羽線一部供用開始

# 4) 事業の全体工程



## 4) 事業の全体工程

### ○事業工程

令和5年6月の出水による転流工呑口損傷への対応等により、本体掘削前の伐採に時間を要している。

年 度	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)	2033 (R15)	2034 (R16)
転流工	■	■												
本体掘削	■	■	■	■	■	■								
堤体工事						■	■	■	■	■	■	■		
付替道路	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
補償	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
試験湛水												■	■	■

※工程は現時点の予定であり、今後の状況等により変更となる場合がある。

※実施年度 **予算ベース** に対する着色

## 5) 第2回計画変更(R4.8)後の事業費増減

- ・第2回計画変更後に生じたコスト増減については下表のとおり。
- ・R5年度予算における現段階の増額の見通しでは、瀬戸設楽線5号橋下部工仮設の数量精査、1号トンネル掘削補助工法の追加による約1,367百万円、貯水池斜面对策における工法変更による約514百万円等の増額が必要となっており、純減額分を控除した純増額では約1,542百万円となっている。(R4年度及びR5年度予算の純増額合計は約1,943百万円)
- ・コスト縮減の見通しとしては、左岸堤頂部掘削で発生した掘削ズリを骨材として使用することによる、原石山からの採取量を縮減策を検討中。

### 増額の見通しがあるもの

主な項目	主な理由	増額	備考
付替道路工事関係	・トンネル掘削において地質が脆弱であったため、掘削補助工法の追加	約578百万	昨年度報告
ダム本体関連	・左岸頂部掘削方法変更による増	約495百万	P14
ダム本体関連	・出水に伴う転流工呑口水路の破損復旧作業が生じたことによる増	約20百万	P10
ダム本体付属関係	・貯水池斜面对策における工法変更による増	約514百万円	P15
付替道路工事関係	・瀬戸設楽線5号橋下部工仮設の数量精査、1号トンネル掘削補助工法の追加等による増	約1,367百万円	P17 P18

R4年度予算における純減額分を控除した純増額	約401百万円
R5年度予算における純減額分を控除した純増額	約1,542百万円
純増額合計 (R4年度+R5年度)	約1,943百万円

### コスト縮減の見通しがあるもの

主な項目	主な理由	減額	備考
工事用道路の効率化	・トンネルの施工計画を見直したことにより、工事用道路の仮栈橋を削減	検討中	昨年度報告
ダム本体	・左岸頂部掘削においてダム本体の骨材として使用可能と考えられるCM級またはCH級の岩が2万m <sup>3</sup> 程度が発生していることから、仮置きすることで原石山からの採取量を縮減	検討中	P31

※現地着手後、実施をもって総事業費への影響を確認する。

## 6) 変状等確認している事象

### (転流工呑口水路の法面損傷、付替町道笹平奴田小松線の変状)

- ・R5年6月2日～3日の降雨(累加雨量300mm以上)により、転流工呑口水路において、延長約70mの吹付法面の損傷が発生。被災箇所の仮復旧と仮締切工については完了。(約20百万円)
- ・付替町道笹平奴田小松線においては工事中の土工部に変位が発生。当該箇所は、貯水池斜面对策必要箇所(SL-8)と一体で施工を行うことでコストの縮減を図れるよう、現在設計を行っている。

転流工呑口水路の変状状況及び復旧状況

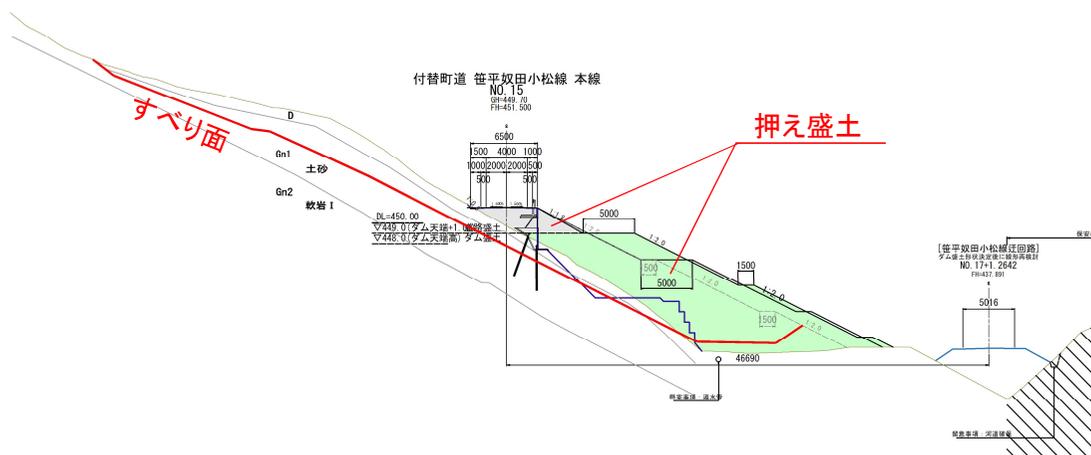


出水時(法面の崩壊)(令和5年6月2日)



復旧完了(令和5年11月7日)

付替町道笹平奴田小松線の変状状況



## 7) 事業の進捗状況

### ○ 予算執行状況

- ・総事業費 約3,200億円
- ・R5年度 約177.3億円 (補正予算含む)
- ・R6年度 約160.9億円
- ・R5年度迄 約1,682億円 (進捗率約53%)

(令和6年3月末時点)

補償基準他	H21.2 用地補償基準妥結 H21.3 水源地域特別措置法の水源地地域指定、整備計画の決定
用地取得 (約300ha) ※数字は水没地のみ面積	約98%(約295ha)
家屋移転 (124世帯)	100%(124世帯)
付替国道、付替県道 (約17km)	約59%(9.9km)
付替町道、付替林道 (約18km)	約29%(5.3km)
ダム本体及び 関連工事	<p>※本体基礎掘削施工中</p>
事業進捗率 (約3,200億円)	約53%(約1,682億円)

※付替道路は道路工事が着手された工事の施工延長進捗率

# 2. 令和5年度予算

## 1) 実施内容

### ○令和5年度予算額

(単位:百万円)

予算費目	当初予算の主な実施内容	令和5年度当初予算				令和4年度補正予算			
		当初	変更	(増減額)	主な変更要因	当初	変更	(増減額)	主な変更要因
工事費		約 4,527.9	約 4,658.8	( 130.9 )		約 925.0	約 925.0	( -0.0 )	
①施設維持等	観測施設保守点検等	約 10.6	約 26.7	( 16.1 )	【その他増】 実施数量精査による増	約	約	( 0.0 )	
②ダム本体関連	本体関連工事、建設発生土受入地整備	約 3,783.9	約 2,805.6	( -978.3 )	【純増】 乾流工呑口水路の復旧による増 【純増】 左岸頂部掘削方法の変更による増 【純減】 本体関連契約差金による減	約 220.0	約 247.1	( 27.1 )	【その他増】 実施数量精査による増
③ダム本体付属関係	右岸天端進入路、貯水池内伐採、貯水池斜面対策工事等	約 570.0	約 1,651.3	( 1,081.3 )	【純増】 地盤状況悪化に伴う工法変更による増(大口径Br→ダウンザ) 【前倒し増】 貯水池内伐採の進捗	約 705.0	約 677.9	( -27.1 )	【その他減】 実施数量精査による減
④その他	工事監督支援等	約 163.4	約 175.1	( 11.8 )	【その他増】 実施数量精査による増	約	約	( 0.0 )	
測量設計費		約 1,745.0	約 1,985.1	( 240.1 )		約 180.0	約 180.0	( 0.0 )	
①継続調査	流量・水質観測及びデータ整理、環境モニタリング調査等	約 303.5	約 323.3	( 19.8 )	【その他増】 実施数量精査による増	約 80.0	約 72.2	( -7.8 )	【その他減】 実施数量精査による減
②ダム本体関係	ダム本体施工計画検討等	約 215.0	約 172.4	( -42.6 )	【その他減】 実施数量精査による減	約 30.0	約 28.6	( -1.4 )	【その他減】 実施数量精査による減
③付替道路関係	小松田口線、町林道等の設計	約 297.0	約 564.2	( 267.2 )	【前倒し増】 小松田口線の設計を進捗させたため増	約 70.0	約 46.3	( -23.7 )	【その他減】 実施数量精査による減
④用地・建物調査	用地調査等	約 65.0	約 86.1	( 21.1 )	【その他増】 実施数量精査による増	約	約	( 0.0 )	
⑤埋蔵文化財調査	発掘調査の出土品整理等	約 200.0	約 38.0	( -162.0 )	【その他減】 出土品の数量精査に伴う減	約	約	( 0.0 )	
⑥その他	発注者支援等	約 664.5	約 801.1	( 136.6 )	【その他増】 実施数量精査による増	約	約 32.8	( 32.8 )	【その他増】 発注者支援等業務の実施数量精査による増
用地費及び補償費		約 8,946.6	約 8,572.3	( -374.2 )		約 470.0	約 470.0	( 0.0 )	
①用地補償関係	用地補償、公共補償	約 450.0	約 722.5	( 272.5 )	【純増】 実施数量精査による増(電気工作物移設)	約	約	( 0.0 )	
②付替道路工事関係	設楽根羽線、瀬戸設楽線、国道257号、小松田口線等の付替道路工事	約 8,096.6	約 7,628.3	( -468.2 )	【先送り減】 設計及び施工手順の見直しによる先送り等 【純増】 瀬戸設楽線5号橋下部工仮設の数量精査、1号トンネル掘削補助工法の追加等 【純減】 契約差金による減 【前倒し増】 工事用進入路の前倒し施工	約 470.0	約 470.0	( 0.0 )	
③埋蔵文化財調査	発掘調査	約 400.0	約 141.3	( -258.7 )	【その他減】 出土品の数量精査に伴う減	約	約	( 0.0 )	
④その他	取得用地の管理(除草工)等	約 0.0	約 80.2	( 80.2 )	【その他増】 実施数量精査による増	約	約	( 0.0 )	
船舶及び機械器具費		約 86.7	約 86.7	( 0.0 )		約 25.0	約 25.0	( 0.0 )	
①電気通信施設保守点検等	電気通信保守点検	約 86.7	約 86.7	( 0.0 )		約 25.0	約 25.0	( 0.0 )	
事業車両費		約 22.4	約 25.6	( 3.2 )		約 0.0	約	( 0.0 )	
①車両管理関係	車両管理・点検等	約 22.4	約 25.6	( 3.2 )	【その他増】 実施数量精査による増	約	約	( 0.0 )	
工事諸費等		約 664.1	約 664.1	( 0.0 )		約 0.0	約	( 0.0 )	
①営繕・宿舍・車両・広報費等	庁舎、宿舍維持、広報等	約 664.1	約 664.1	( 0.0 )		約	約	( 0.0 )	
予算額		約 15,992.6	約 15,992.6	( 0.0 )		約 1,600.0	約 1,600.0	( 0.0 )	



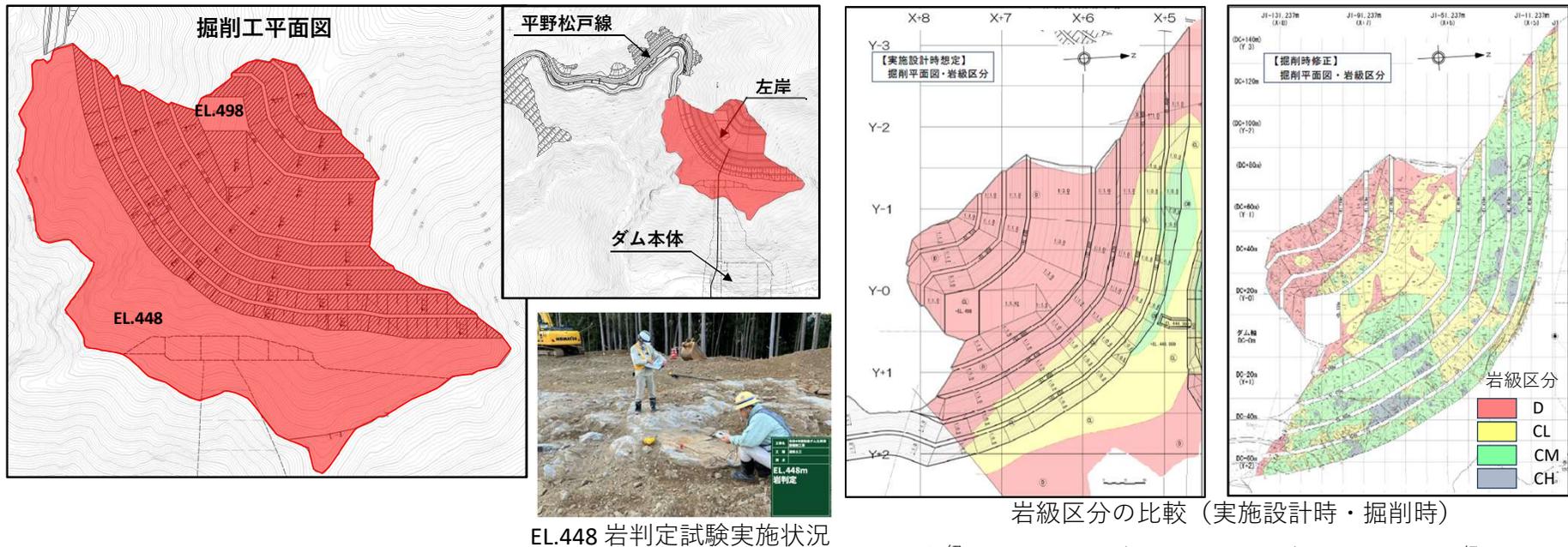
### 3) 個別説明

#### (1) ダム本体関連 工事費

本体関連工事、建設発生土受入地整備

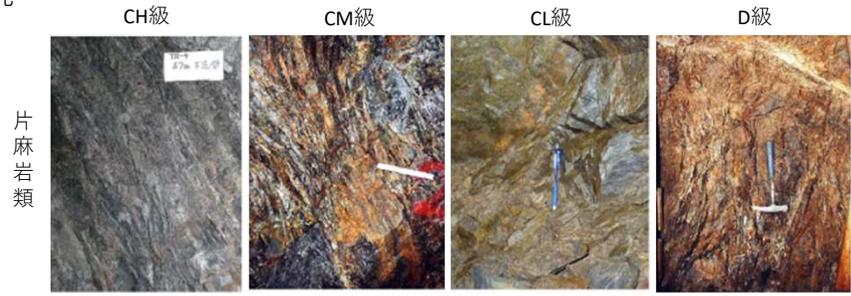
当初(百万円)	変更(百万円)	主な変更内容
約3,783.9	約2,805.6	<b>【内 495.4純増】</b> 岩判定の結果より、CM級(中硬岩)、CH級(硬岩)と判定された箇所について、掘削工における施工方法を変更したことによる増

EL.498～EL.448区間において、岩判定の結果より、CM級(中硬岩)・CH級(硬岩)と判定された箇所について、「火薬掘削」に変更。



岩級区分の比較 (実施設計時・掘削時)

	施工方法(積算区分)	
	本掘削	先行掘削
当初設計	機械掘削	軟岩 オープンカット
変更	火薬掘削	硬岩 オープンカット 火薬使用



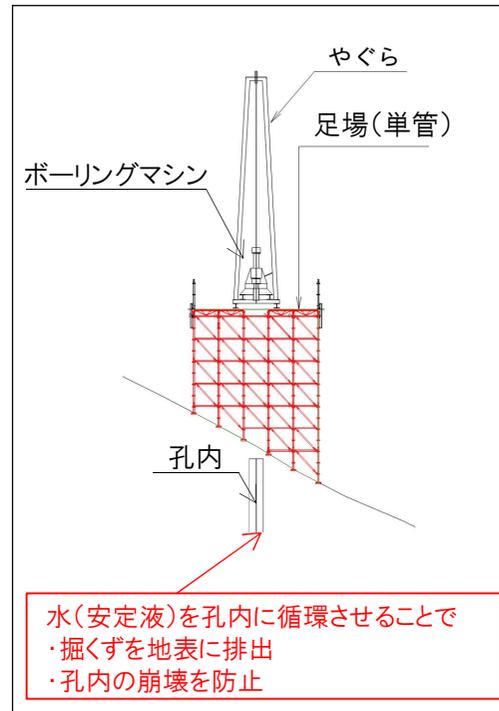
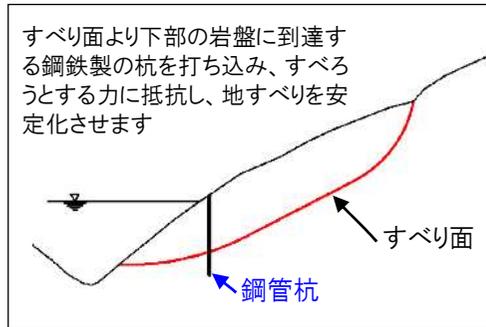
### 3) 個別説明

#### (2) ダム本体付属関係 工事費

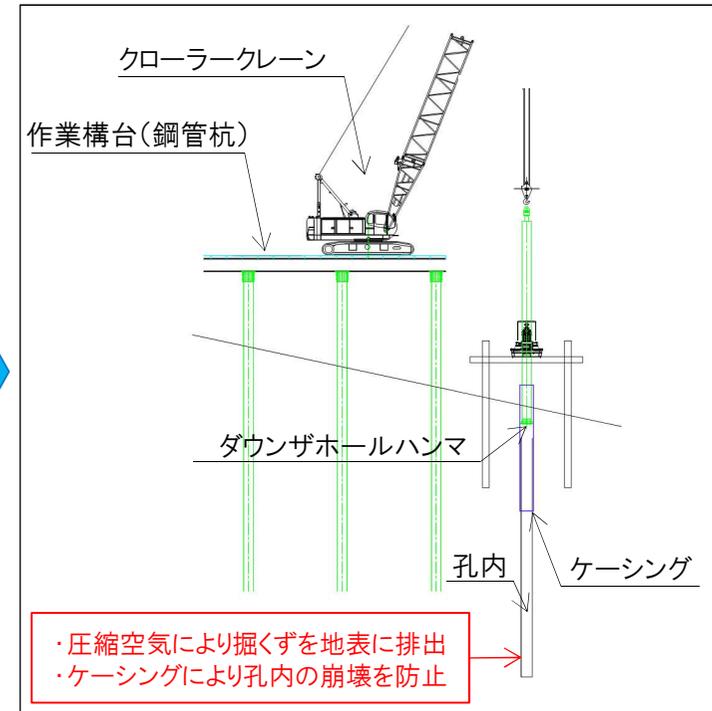
右岸天端進入路、貯水池内伐採、貯水池斜面对策工事等

当初(百万円)	変更(百万円)	主な変更内容
約570.0	約1,651.3	【内 514.3純増】貯水池斜面对策工事において、鋼鉄製の杭を岩盤に打ち込むために行う掘削の工法および足場の変更を行ったことによる純増

- 掘削で発生する掘くずを地表に排出するとともに、孔内の崩壊を防止するために使用する水(安定液)が地盤に浸透し施工箇所下部の法面から逸出したため、当初の工法では施工不可となった。
- 掘くずの地表への排出には水の代わりに圧縮空気を使用し、ケーシングにより孔内の崩壊を防止する工法に変更。
- 工法の変更に伴いクローラークレーンが必要となったが、単管パイプによる足場ではクローラークレーンの荷重に耐えることができないため、鋼管を使用した作業構台に変更。



(当初)大口径ボーリング工法



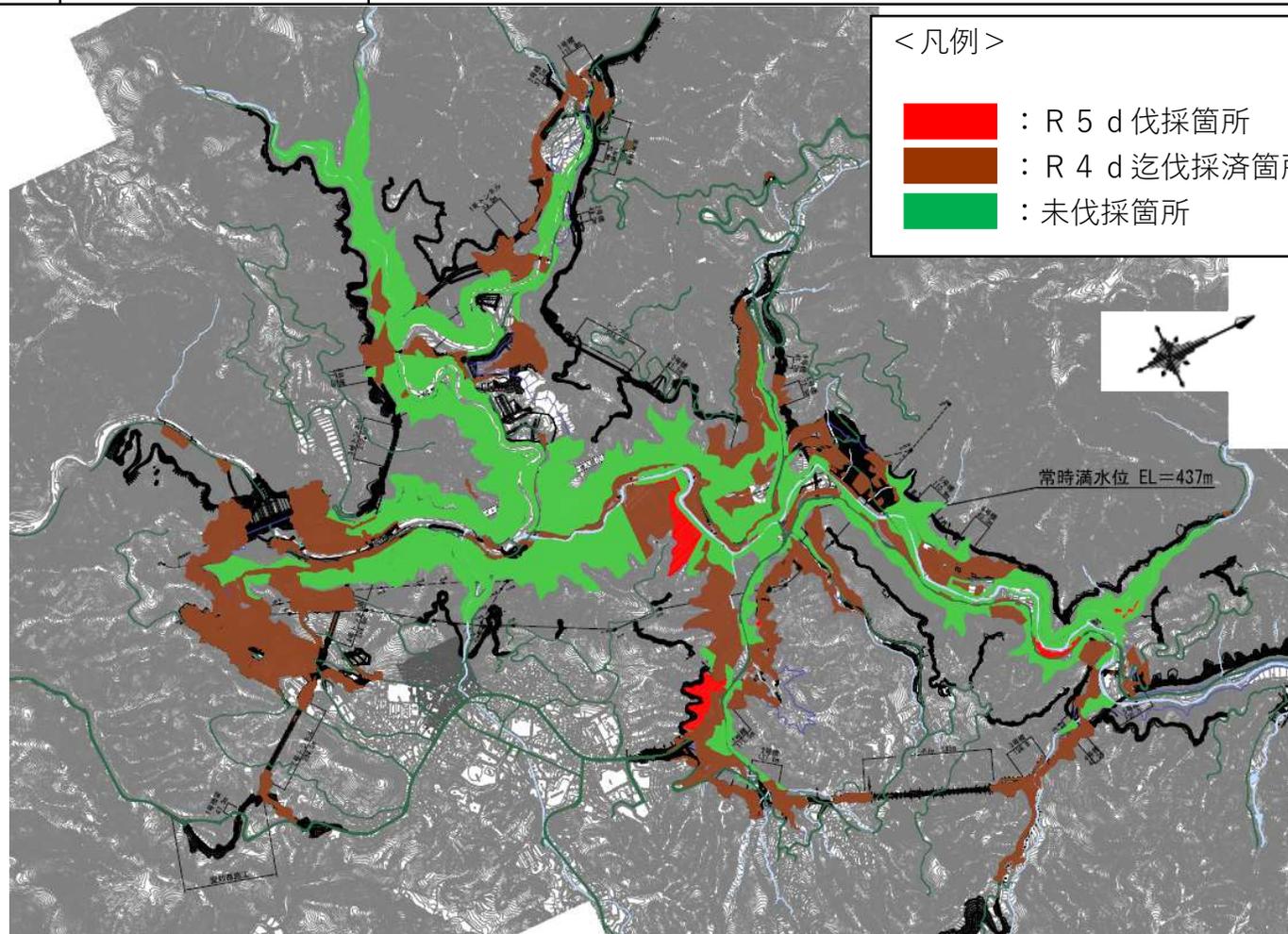
(変更)ケーシング併用ダウンザホールハンマ工法

### 3) 個別説明

#### (3) ダム本体付属関係 工事費

右岸天端進入路、貯水池内伐採、貯水池斜面对策工事等

当初(百万円)	変更(百万円)	主な変更内容
約570.0	約1,651.3	【内 567.0前倒し増】貯水池内伐採を前倒したことによる増



### 3) 個別説明

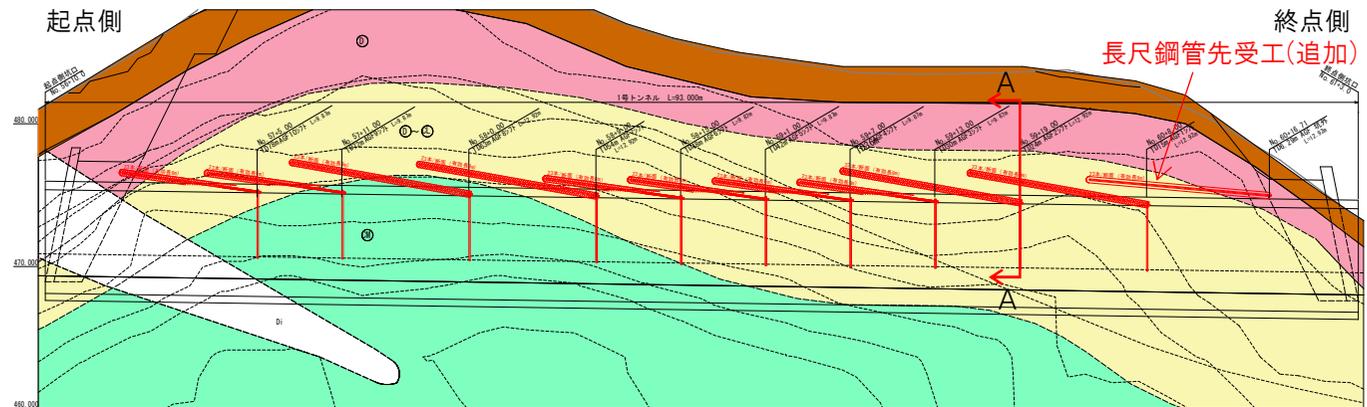
#### (4) 付替道路工事関係 用地費及び補償費

設楽根羽線、瀬戸設楽線、国道257号、小松田口線等の付替道路工事

当初(百万円)	変更(百万円)	主な変更内容
約8,096.6	約7,628.3	<b>【内 642.2純増】</b> 付替県道瀬戸設楽線1号トンネル起点の地質が脆弱な状況であり、掘削補助工法等を追加したことによる純増

**岩級区分 凡例**

- D級
- CL級
- CM級



掘削面状況

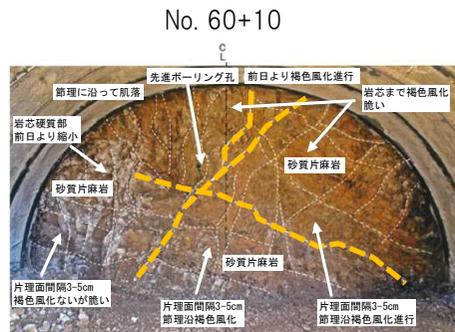
A-A断面

鏡面吹付コンクリート

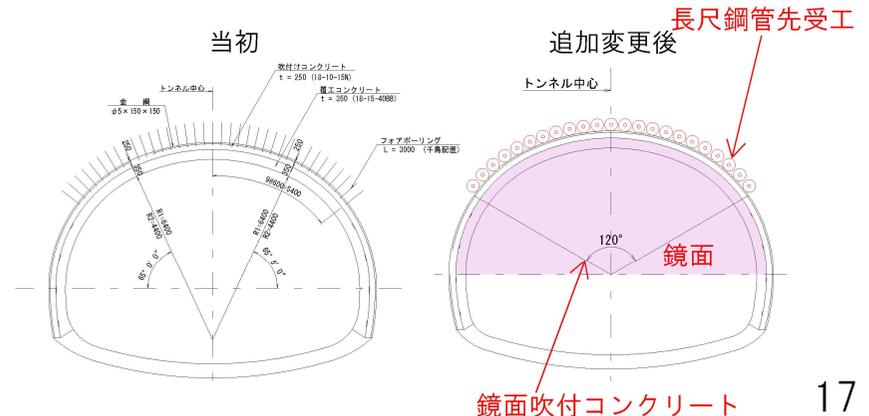
→掘削直後の鏡面に吹付コンクリートを施工し、切羽の安定性の向上を図る安定対策

長尺鋼管先受工

→支保工を拡幅せず無拡幅で切羽上部から天端土中へ鋼管を打設する地山補強・安定対策工法



褐色風化した脆弱な掘削面



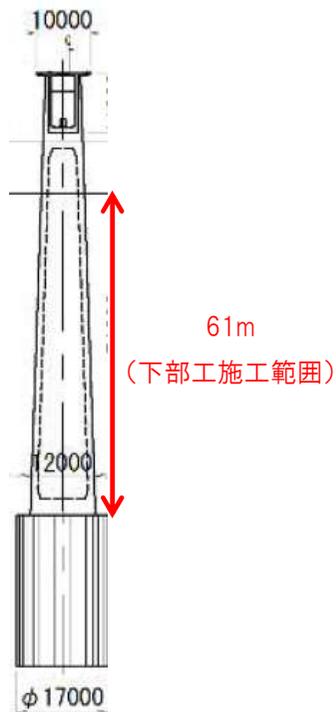
### 3) 個別説明

#### (5) 付替道路工事関係 用地費及び補償費

設楽根羽線、瀬戸設楽線、国道257号、小松田口線等の付替道路工事

当初(百万円)	変更(百万円)	主な変更内容
約8,096.6	約7,628.3	<p><b>【内 725.2純増】</b>付替県道瀬戸設楽線5号橋下部工は、60m以上で先細り形状の橋脚であり、当該橋脚の施工に必要な通常の昇降式足場は、組立てのために十分な施工ヤードの確保が必要。</p> <p>しかし、施工条件により施工ヤードが確保できないため、施工実績が著しく少ない当該橋脚形状に対応した自動昇降式足場(ヤードでの組立て不要)を採用することとしており、使用実績に基づく精算による増。</p>

【5号橋下部工】

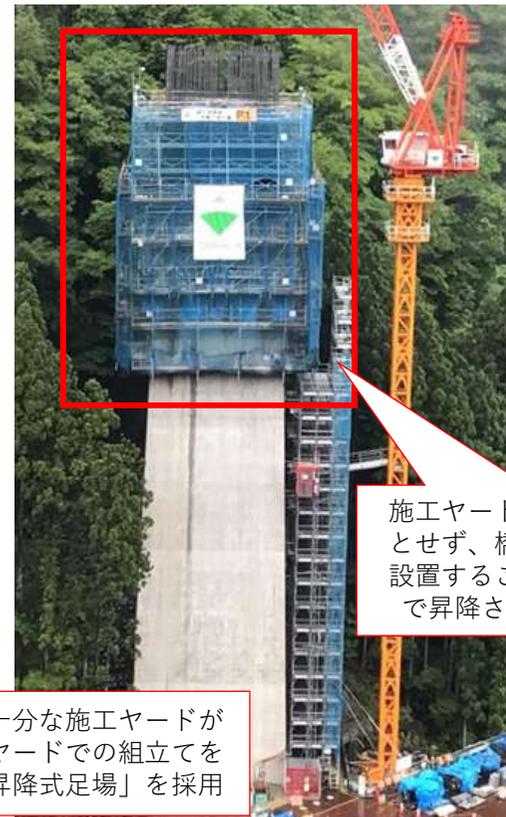


80m以上の先細り形状

【5号橋下部工施工状況】



足場組立てのための十分な施工ヤードが確保できないため、ヤードでの組立てを必要としない「自動昇降式足場」を採用



施工ヤードでの組立てを必要とせず、橋脚躯体にレールを設置することで、足場を自動で昇降させることが可能。

### 3) 個別説明

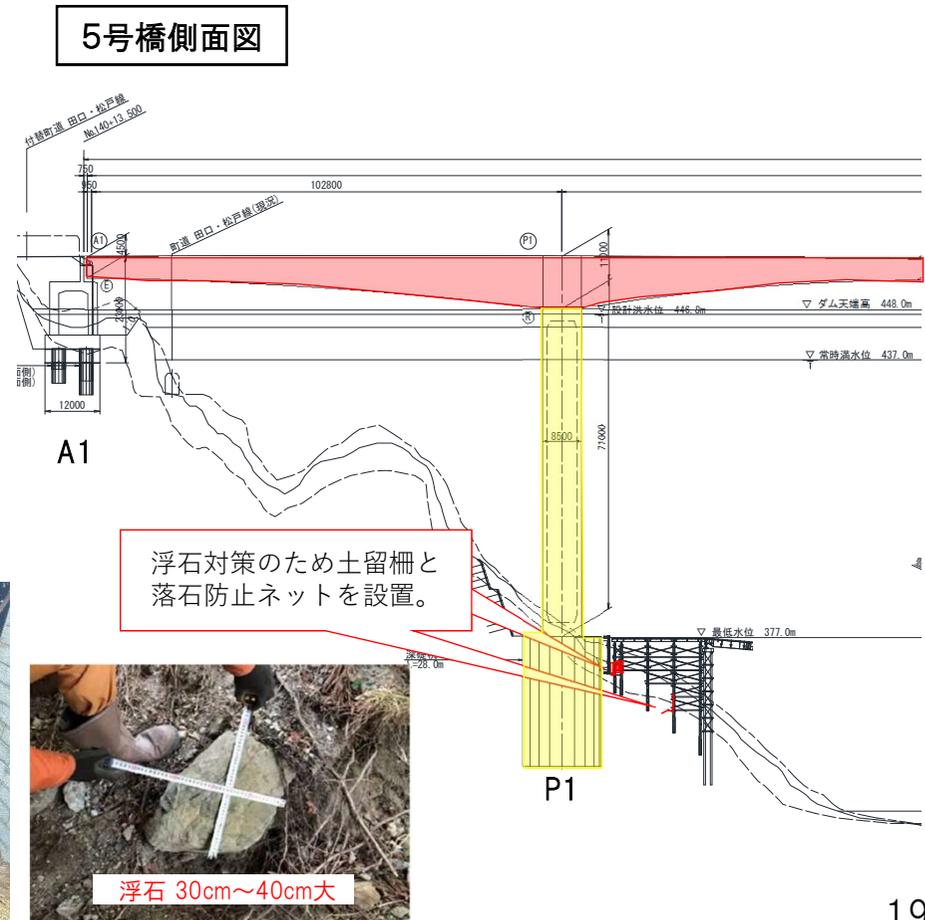
#### (6) 付替道路工事関係 用地費及び補償費

設楽根羽線、瀬戸設楽線、国道257号、小松田口線等の付替道路工事

当初(百万円)	変更(百万円)	主な変更内容
約8,096.6	約7,628.3	【内 822.4先送り減】設計及び施工手順の見直しによる先送り等 5号橋上部工工事において、前工事である下部工工事で、落石の恐れのある浮石が多数確認されたことから、安全対策を行ったことにより工期が遅延し、結果として上部工発注時期に遅れが生じたことによる先送り減。



斜面上には20cm~40cm大の浮石が点在している

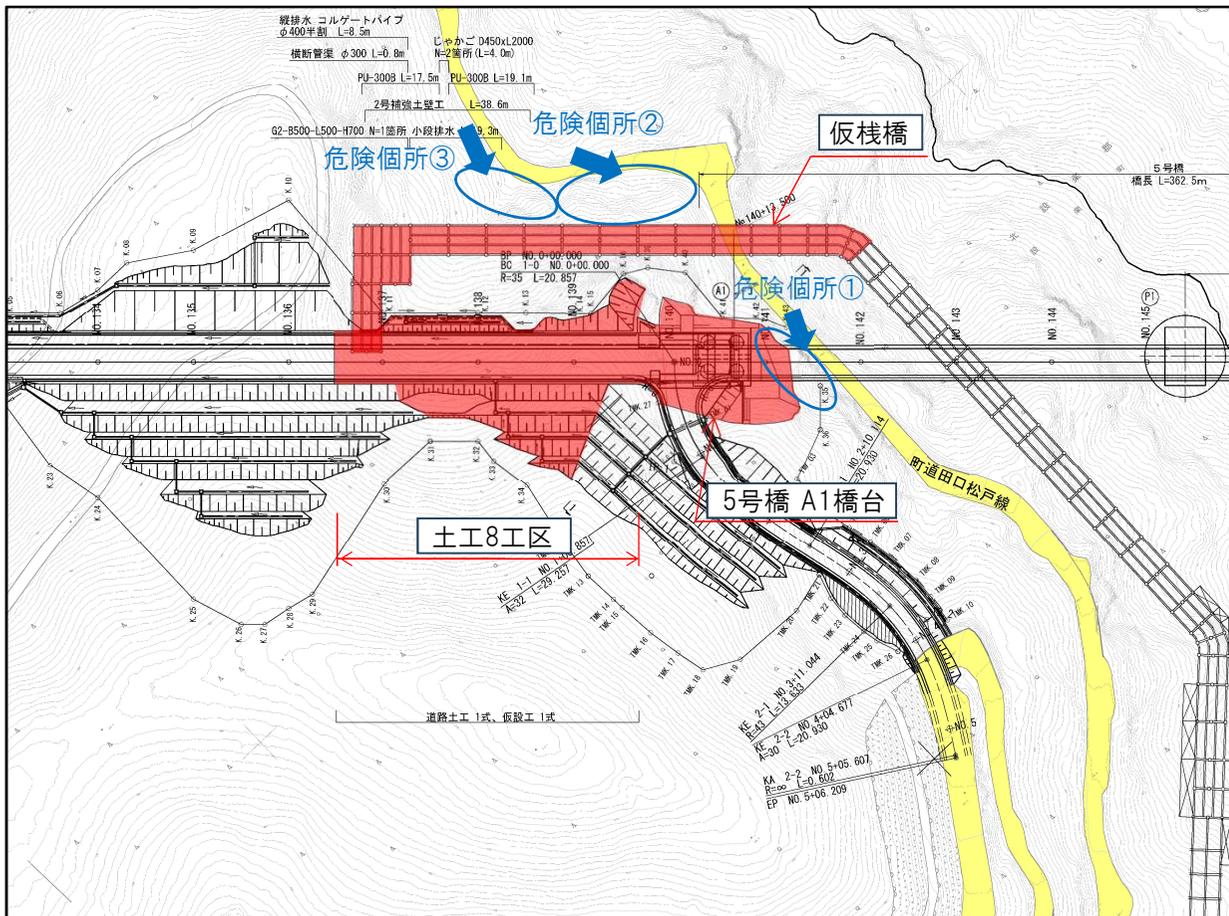


### 3) 個別説明

#### (7) 付替道路工事関係 用地費及び補償費

設楽根羽線、瀬戸設楽線、国道257号、小松田口線等の付替道路工事

当初(百万円)	変更(百万円)	主な変更内容
約8,096.6	約7,628.3	【内 211.5先送り減】設計及び施工手順の見直しによる先送り等 町道田口松戸線において現地を詳細確認した結果、落石等の危険が判明し、 工事により通行に影響を与えないよう対策の検討を行ったことによる先送り減



【危険箇所状況写真】



# 3. 令和6年度予算 1) 実施内容

## ○令和6年度予算額

(単位:百万円)

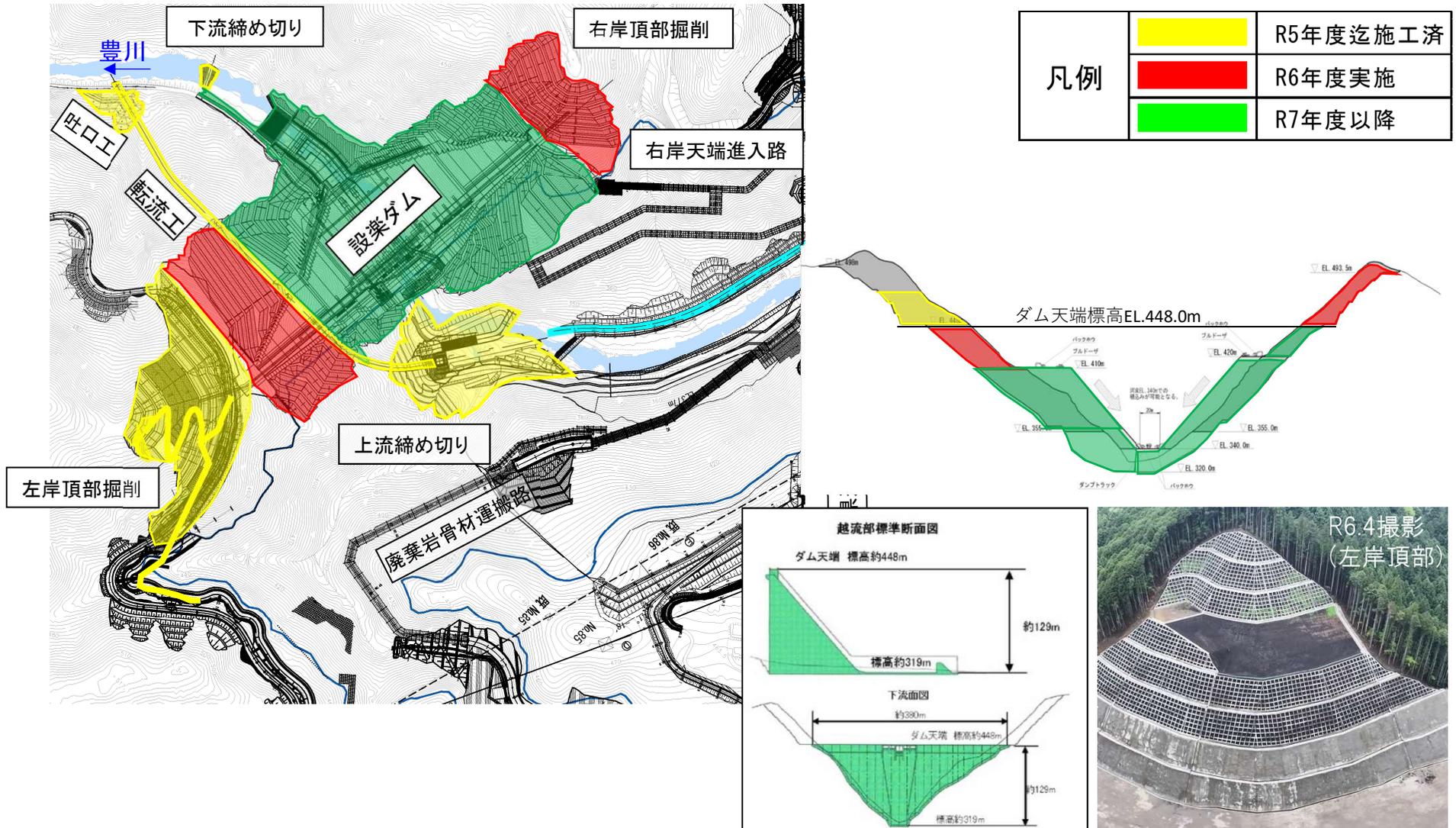
予算費目及び主な実施内容		(参考値) 令和5年度当初予算変更	令和6年度当初予算	令和5年度補正予算
工事費		約 4,658.8	約 4,699.6	約 963.0
①施設維持等	観測施設保守点検等	約 26.7	約 10.4	約
②ダム本体関連	本体関連工事、本体1期工事、建設発生土受入地整備	約 2,805.6	約 4,210.2	約 433.0
③ダム本体付属関係	貯水池内伐採、貯水池斜面对策工事等	約 1,651.3	約 224.0	約 530.0
④その他	工事監督支援等	約 175.1	約 255.0	約
測量設計費		約 1,985.1	約 1,700.7	約 250.0
①継続調査	流量・水質観測及びデータ整理、環境モニタリング調査等	約 323.3	約 390.0	約
②ダム本体関係	ダム本体施工計画検討、ダムサイト地質解析等	約 172.4	約 150.0	約
③付替道路関係	小松田口線、町林道等の設計等	約 564.2	約 230.0	約 250.0
④用地・建物調査	用地調査等	約 86.1	約 95.0	約
⑤埋蔵文化財調査	発掘調査の出土品整理等	約 38.0	約 130.0	約
⑥その他	発注者支援等	約 801.1	約 705.7	約
用地費及び補償費		約 8,572.3	約 8,902.0	約 515.9
①用地補償関係	用地補償、公共補償	約 722.5	約 190.0	約
②付替道路工事関係	設楽根羽線、瀬戸設楽線、国道257号、小松田口線等の付替道路工事	約 7,628.3	約 8,512.0	約 515.9
③埋蔵文化財調査	発掘調査	約 141.3	約 200.0	約
④その他	取得用地の管理(除草工)等	約 80.2	約 0.0	約
船舶及び機械器具費		約 86.7	約 88.7	約 15.0
①電気通信施設保守点検等	電気通信保守点検等	約 86.7	約 88.7	約 15.0
事業車両費		約 25.6	約 17.9	約
①車両管理関係	車両管理・点検等	約 25.6	約 17.9	約
工事諸費等		約 664.1	約 676.7	約
①営繕・宿舍・車両・広報費等	庁舎、宿舍維持、広報等	約 664.1	約 676.7	約
予算額		約 15,992.6	約 16,085.5	約 1,744.0



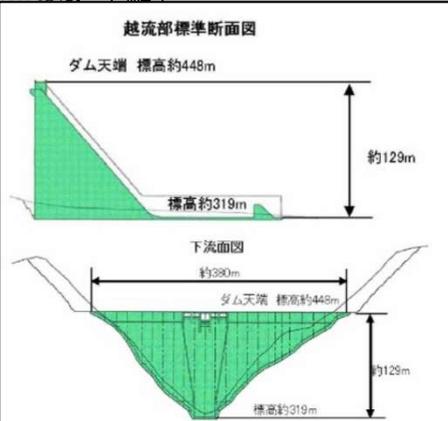
### 3) 個別説明

#### (1) ダム本体関連 工事費

当初(百万円)	実施内容
約4,210.2	本体工事に向けての左岸頂部掘削及び建設発生土受入地整備を実施し、本体1期工事を引き続き実施。



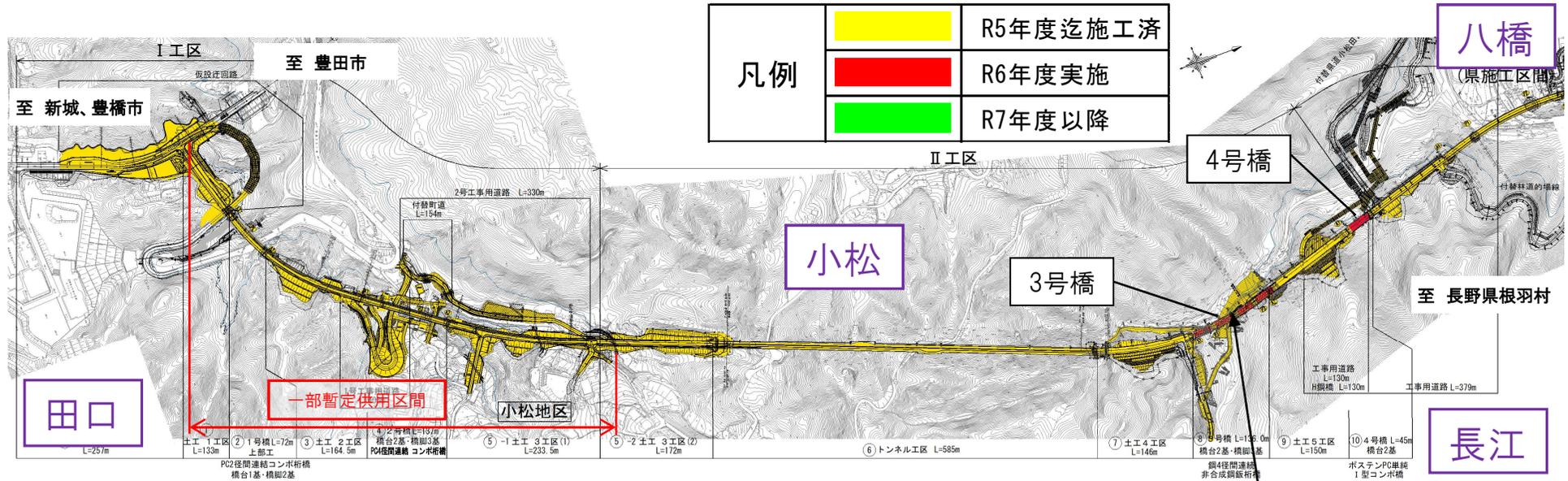
凡例		R5年度迄施工済
		R6年度実施
		R7年度以降



### 3) 個別説明

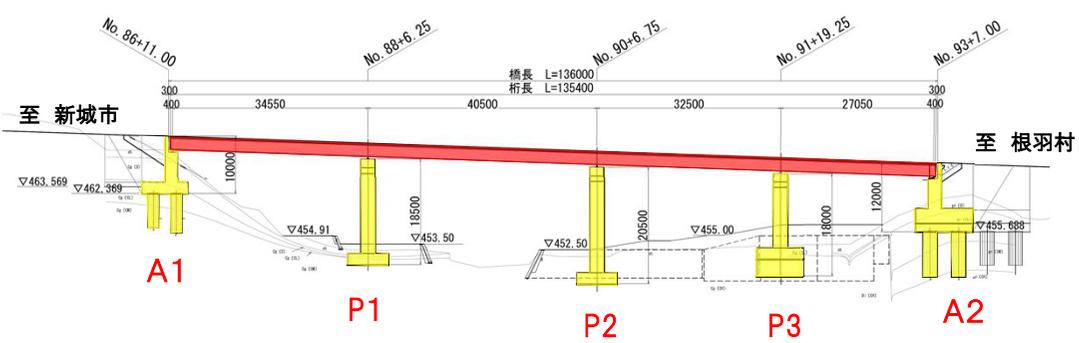
#### (2) 付替道路工事(設楽根羽線) 用地費及び補償費 1/2

当初(百万円)	実施内容
約1,232.1	付替道路(県道設楽根羽線)の3号橋上部工・4号橋上部工等を実施



3号橋側面図

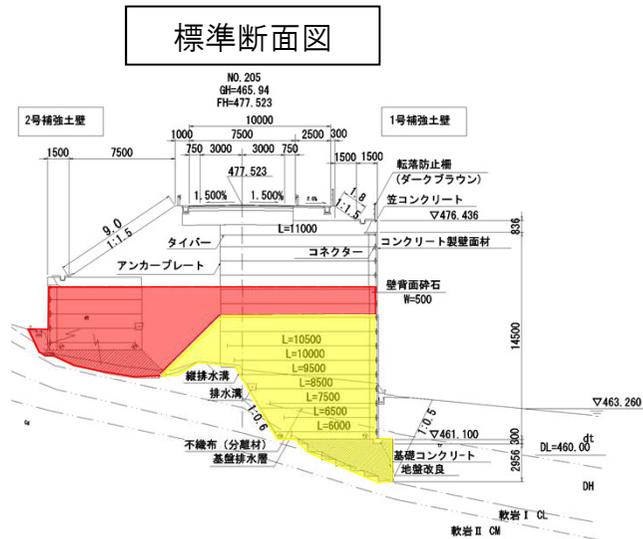
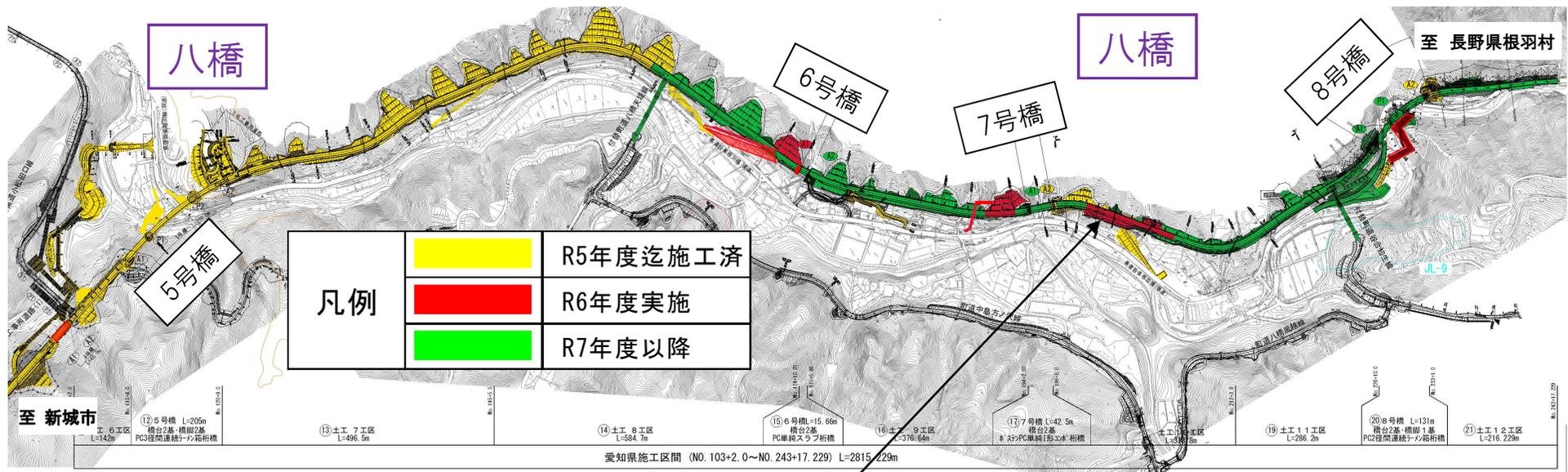
3号橋周辺施工状況(R6.5.22撮影)



# 3) 個別説明

## (2) 付替道路工事(設楽根羽線(県施工区間)) 用地費及び補償費 2/2

当初(百万円)	実施内容
約1,232.1	付替道路(県道設楽根羽線)の6号橋・8号橋仮橋・土工を実施

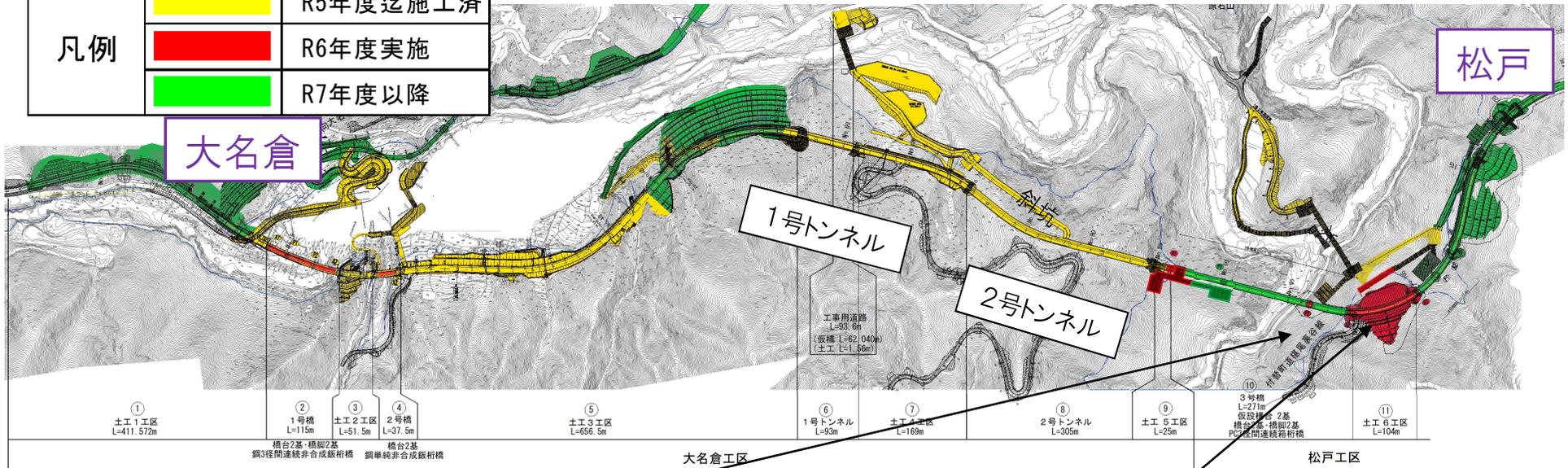


### 3) 個別説明

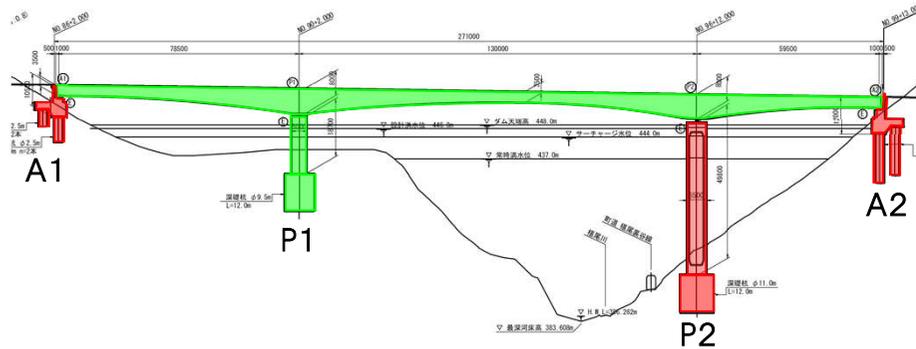
#### (3)付替道路工事(瀬戸設楽線) 用地費及び補償費 1/2

当初(百万円)	実施内容
約2,808.6	付替道路(県道瀬戸設楽線)の3号橋構台、下部工、5号橋上部工等を実施

凡例	R5年度迄施工済	
	<span style="background-color: yellow;">■</span>	
	<span style="background-color: red;">■</span>	R6年度実施
	<span style="background-color: green;">■</span>	R7年度以降



3号橋側面図



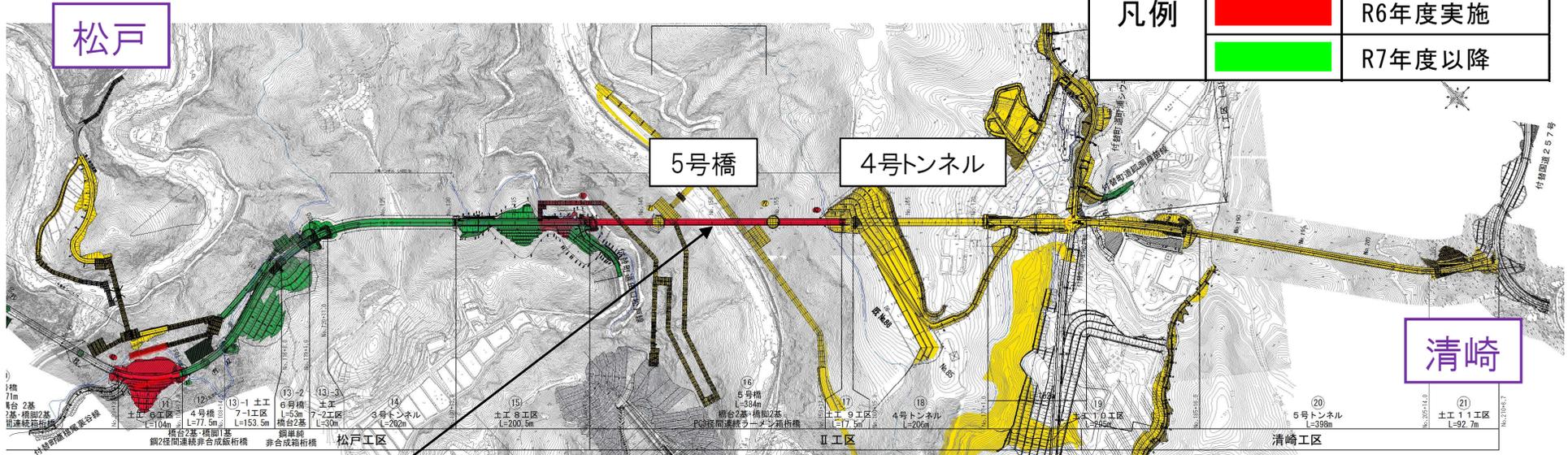
3号橋構台施工状況(R6.5.22 撮影)



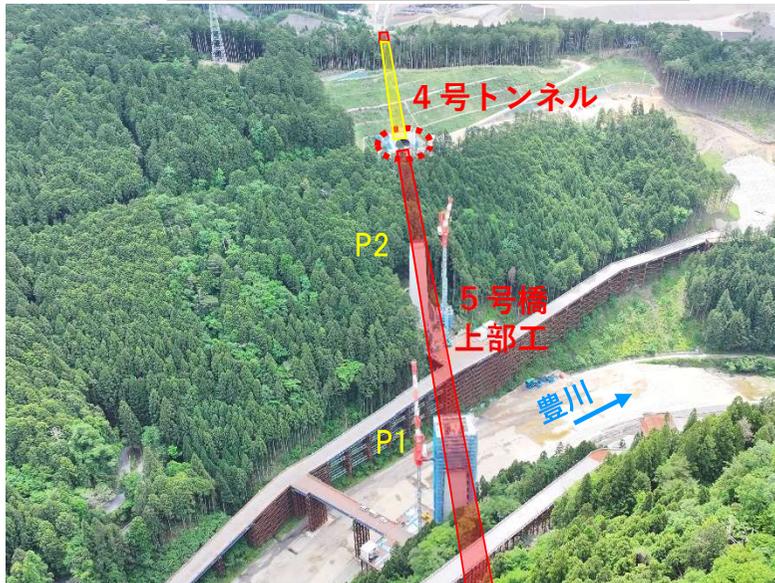
# 3) 個別説明

## (3) 付替道路工事(瀬戸設楽線) 用地費及び補償費 2/2

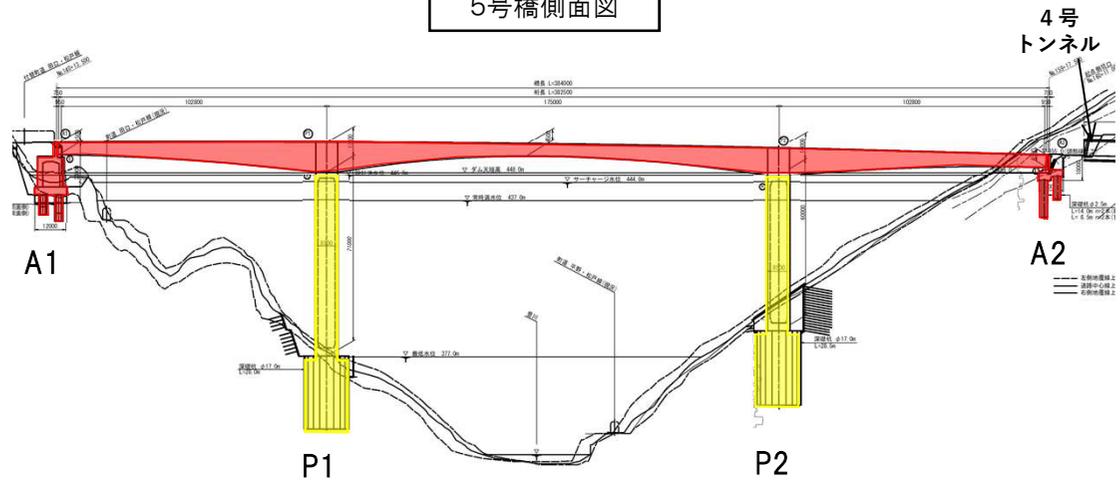
凡例		R5年度迄施工済
		R6年度実施
		R7年度以降



5号橋周辺施工状況(R6.5.22 撮影)



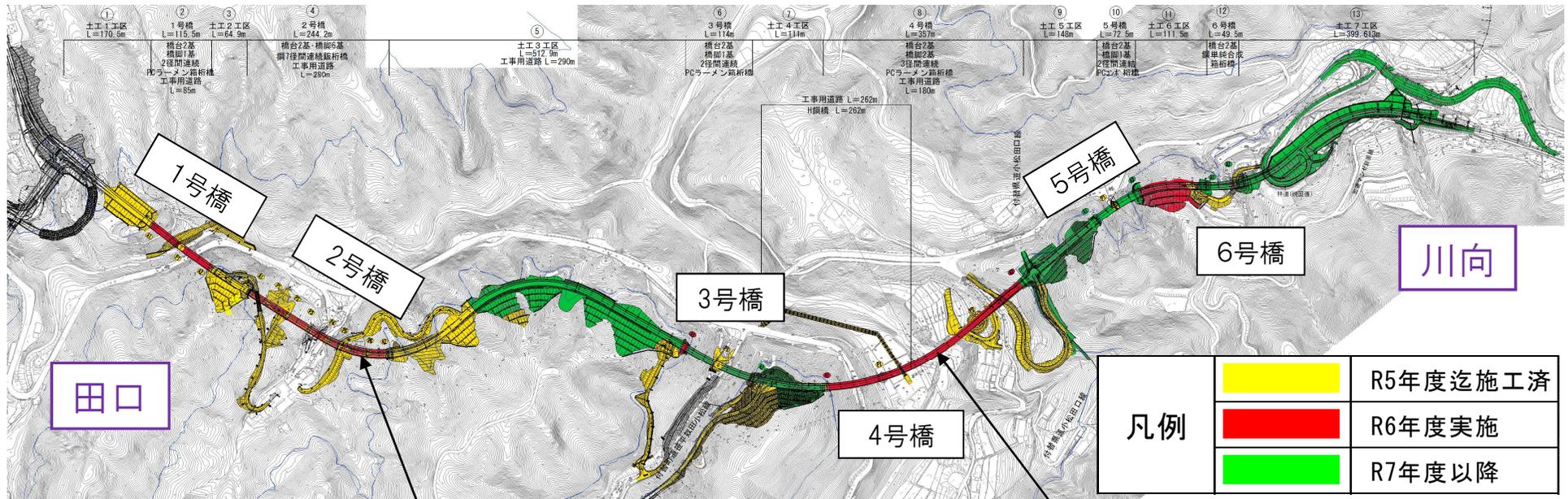
5号橋側面図



### 3) 個別説明

#### (4) 付替道路工事(国道257号) 用地費及び補償費

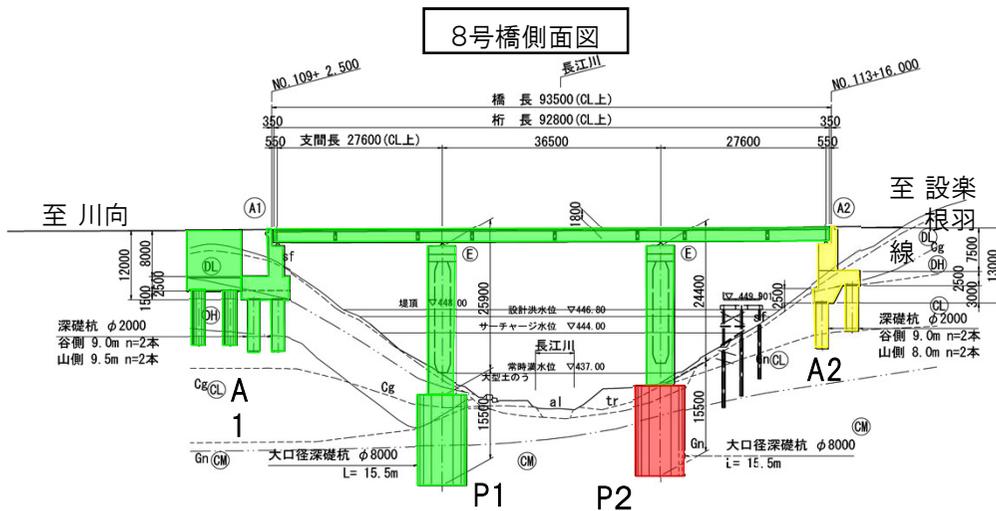
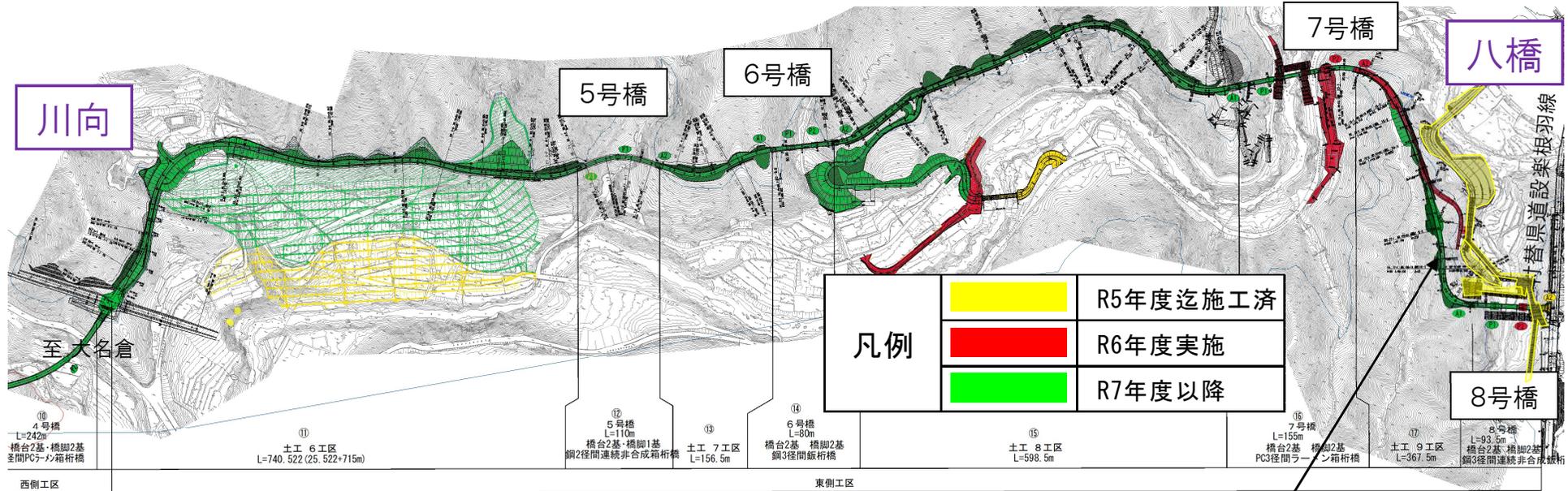
当初(百万円)	実施内容
約2,201.3	付替道路(国道257号)の1号橋上部工・2号橋床版工・4号橋上部工等を実施



### 3) 個別説明

#### (5) 付替道路工事(小松田口線) 用地費及び補償費

当初(百万円)	実施内容
約1,300.0	付替道路(小松田口線)の7号橋・8号橋下部工等を実施



## 4. 本事業におけるコスト縮減

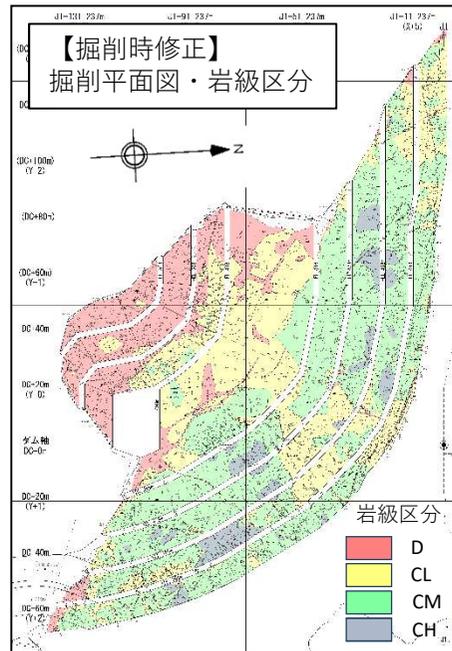
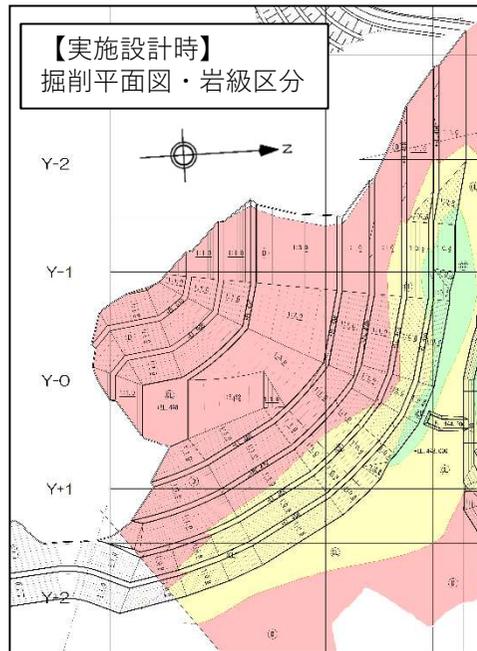
- 第2回計画変更(R4.8)以降に検討している工期短縮策・コスト縮減策をまとめた。
- 引き続き、新たなコスト縮減対策として、他ダムで実績のある技術等の採用を検討するとともに、今後、新たに開発される新技術についても随時、本事業における適用を検討し、コスト縮減に努めていく。

主な工種	工期短縮策		コスト縮減策	
堤体工 (掘削、堤体打設、放流設備等)	・堤体打設における作業効率の向上	【検討中】	・堤体打設における作業効率の向上 ・堤体基礎掘削岩の骨材活用	【検討中】 【検討中】
仮設備工 (骨材製造・コンクリート設備等)	・堤体コンクリート骨材の輸送効率の向上	【検討中】	・堤体コンクリート骨材の輸送効率の向上	【検討中】
道路工 (工事用道路、付替道路)	・工事用道路の効率化	【検討中】	・現地発生土の有効利用 ・橋梁架設方法の見直し ・工事用道路の効率化 ・貯水池斜面对策と道路工事との一体施工	【検討中】 【検討中】 【検討中】 【検討中】
その他工事 (地すべり対策、法面对策等)	・付替道路工事との仮設工の共有	【検討中】	・付替道路工事との仮設工の共有 ・現地発生土の有効利用	【検討中】 【検討中】
管理設備工 (通信・警報・観測設備、建物等)	・新技術等で適用可能なものがないか検討を進めている。			
諸調査 (測量、設計、環境調査等)				

# 1) 第2回計画変更後に見込まれるコスト削減案

堤体基礎掘削岩の骨材活用(コスト削減額については検討中)

- ・左岸頂部掘削では、想定よりも硬質な岩盤(主に砂質片麻岩)が広く出現しており、掘削ズリをコンクリート骨材として転用することができると考えられる。これにより原石山の掘削量縮減および原石山から骨材製造設備までの運搬費の縮減が見込まれる。



## 5. 設楽ダムにおける取り組み

- 森林資源の有効活用として、伐採により発生する枝葉や根株をウッドチップ化し、木質バイオマスとして発電に活用する取り組みをR1年度より実施している。
- R3年度からは、樹木伐採を行っている各工事において実施している。

### 森林資源の有効活用の流れ



発電事業者へ  
運搬・売払※

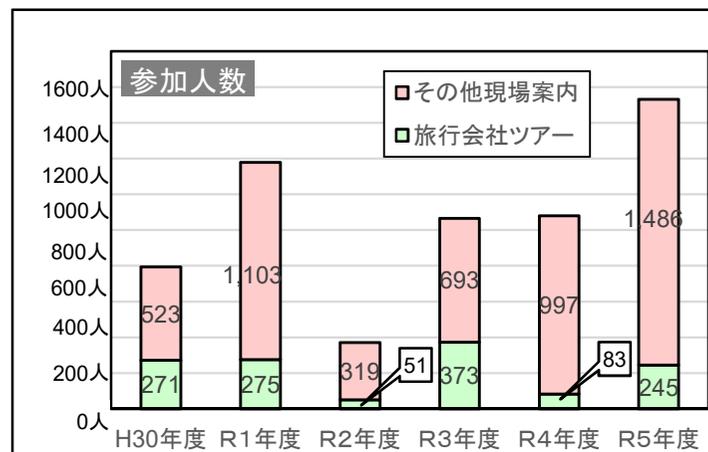
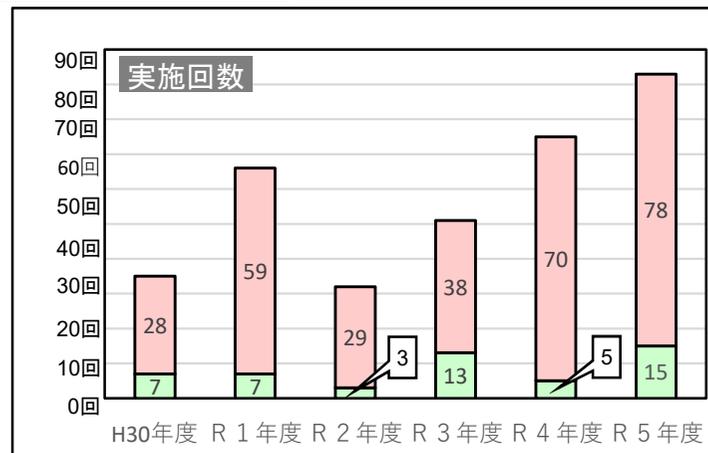


※「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」〔平成23年法律第108号〕、及び同法に基づく告示〔平成24年6月18日経済産業省告示第139号〕により定められた「発電利用に供する木質バイオマスの証明のためのガイドライン」〔平成24年6月 林野庁〕に則り、各作業段階（伐採、加工、流通、発電）における認定事業者により実施。

## 5. 設楽ダムにおける取り組み

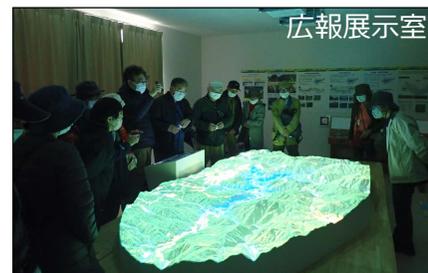
- 設楽ダムを建設段階から観光資源として有効活用することで、水源地域の魅力の発信の一翼を担えるよう、工事見学会を精力的に実施している。
- 観光協会や旅行会社とタイアップし、工事現場見学を実施している。特に、令和5年度はまち歩きとダムをセットにしたガイドツアーを定期的に行い計11回実施した。
- 令和5年度は、現場案内の申し込みが多数あり、過去最大の実施回数となった。

### 現地見学会の実施状況



※R2年度、R3年度については、新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴う現地見学会の自粛期間あり

### まち歩き・ダム工事現場見学の様子





## 5. 設楽ダムにおける取り組み

- 県道設楽根羽線の田口-小松間の供用を記念して、付替県道設楽根羽線の小松トンネルで多くの関係者の協力のもとイベントを開催した。
- 町内外から多くの子ども連れなど609名にお越しいただき、設楽ダム事業を認知いただくとともに、建設業と触れ合える機会をつくることができた。また、地元の飲食店や観光協会、地元住民の皆さま等にも出展いただき、設楽町のグルメや魅力をPRすることができた。さらには出展者同士や出展者と地域とのコミュニケーションを図ることができた。

